

## 「大学評価担当者集会 2015」に係る実施報告

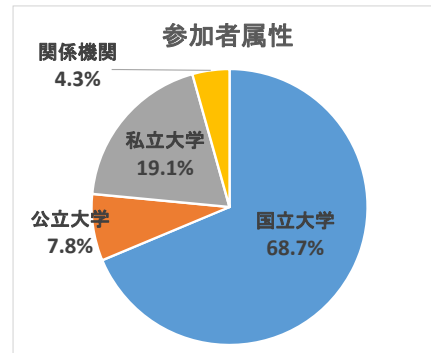
平成 27 年 8 月 27 日（木）～28 日（金）にわたって、大学評価コンソーシアム主催、神戸大学共催による「大学評価担当者集会 2015」を神戸大学六甲台キャンパスにおいて開催しました。

### 【会場】

- ・ 瀧川記念学術交流会館
- ・ 百年記念館（神大会館・留学生センター）

### 【参加者数】

115 名（参加登録者数：120 名）



国公立大学の教職員、及び企業を含む大学関係機関から総勢 115 名にご参加いただき、大学評価及び Institutional Research (IR) に係る内容を中心に、以下の講義及び研修を実施しました。

8月27日（木） 10：00～20：00

### ◇イベント 1 「米国における IR の実践事例ー指標の設定とその活用ー」（10：00～12：00）

参加者数：34 名

担当：藤原宏司（Bemidji State University, MnSCU）、大野賢一（鳥取大学）、小湊卓夫（九州大学）、浅野茂（山形大学）、佐藤仁（福岡大学）

まず、米国の現場から、自大学で集計、分析している学科間比較を目的とした指標（KPI）について、その背景と実際の活用事例を交えて報告がありました。続いて、日本の大学のデータを用いてそれらの指標を計算し、その際の課題等についても報告を行いました。随時、コメントーターが、日米の高等教育の置かれた状況の違いなどについて補足説明を行うスタイルで進めました。



### ◇イベント 2 「はじめて学ぶ IRーこれまでのまとめー」（10：00～12：00）

参加者数：37 名

担当：鳶田敏行（茨城大学）、小林 裕美（徳島大学）、藤原将人（立命館大学）、山本 幸一（明治大学）

IR とは何か、ということについて、これまでの大学評価コンソーシアムでの講演素材などを用いて、IR を実践するための基本的な考え方の整理を行いました。特に新たな知見等を提示するものではありませんが、今回、初めて大学評価担当者集会に参加される方、初めて IR の業務に従事される方を主たる対象とし、午後の全体会の話をもより深く理解できるような内容を中心に講義と質疑応答を行いました。



◇全体会「大学評価はIRで高度化できるのか？」（13：30～17：30） 参加者数：107名

まず、大学評価担当者集会 2015 の開催にあたり、小湊卓夫（大学評価コンソーシアム代表幹事）及び吉井昌彦（神戸大学評価担当学長補佐）から挨拶があり、浅野茂（大学評価コンソーシアム副代表幹事）が本集会の趣旨、プログラム等について説明を行いました。

その後、1つ目のコンテンツとして「大学評価のIRのこれまでとこれから」と題して、本コンソーシアムのこれまでの取組を振り返り、評価・IRの今後の展望を考えるとともに、評価・IRに求められる観点・能力についての会員サーベイの結果の報告がありました。

続いて、2つ目のコンテンツとして「大学評価に活かす米国IRの知見」と題して、「IRの4つの顔（または立ち振る舞い）」「IRの3つの知性」「情報支援サークル」の概念を解説の上、それぞれの概念を参加者自らの業務に照らしてどのように考えればよいのか、個人ワークで整理し、また、参加者間の意見交換・情報共有を行いました。

最後の3つ目のコンテンツは、まとめとして質疑応答と総合討論を行い、会場のみなさんにも数色の色紙を掲げてもらい、全体の傾向を確認しつつ議論を進める全員参加型のスタイルを試行し、理解を深めました。



■大学評価コンソーシアム総会（17：40～18：00） 参加者数：86名

全体会終了後は、「大学評価コンソーシアム総会」を開催し、まず過去1年間の活動、幹事の交代等について代表幹事及び副代表幹事から報告、また、監査人から監査報告を行いました。次に幹事の追加、会員サーベイの試行及び今後1年間の活動予定等について会員のみなさんにお諮りし、ご了承いただきました。平成27年8月28日以降の大学評価コンソーシアム運営担当会員は以下のとおりです。

#### 幹事（12名）

- 浅野 茂（山形大学 学術研究院 教授）
- 大野 賢一（鳥取大学 大学評価室 准教授）
- 小林 裕美（徳島大学 国際課 課長）
- ◎小湊 卓夫（九州大学 基幹教育院 准教授）
- 佐藤 仁（福岡大学 人文学部 准教授）
- 鳶田 敏行（茨城大学 大学戦略・IR室 准教授）
- 榑末次 剛健志（佐賀大学 企画評価課 係長）
- 関 隆宏（新潟大学 企画戦略本部評価センター 准教授）

瀬土橋 慶章（神戸大学 企画評価室 准教授）  
瀬藤井 都百（名古屋大学 評価企画室 講師）  
藤原 将人（立命館大学 教学部 学事課 課長補佐）  
山本 幸一（明治大学 評価情報事務室 副参事）  
◎は代表幹事、○は副代表幹事。

#### 監査人（2名）

浅野 昭人（立命館大学 学生部 次長）  
大川 一毅（岩手大学 評価室 教授）

#### ◇情報交換会（18：00～20：00）

総会終了後は、63 名の方の参加を得て情報交換会を催しました。それぞれの業務に係る情報交換、全体会での講義・演習や翌日の分科会の話題等、終始和やかな雰囲気の中で会話が盛り上がり、また、会場の随所で名刺交換が行われるなど、新たなネットワーク作りの場としても機能しました。

#### 8月28日（金） 9：30～16：00

#### ○評価・IRの実践・課題共有セッション 参加者数：57名

担当：嶋田敏行（茨城大学）、浅野昭人（立命館大学）、大野賢一（鳥取大学）、小林裕美（徳島大学）、小湊卓夫（九州大学）、佐藤仁（福岡大学）、藤井都百（名古屋大学）、藤原宏司（Bemidji State University, MnSCU）、藤原将人（立命館大学）

大学評価あるいはIR業務に一定程度携わっている方を対象に、大学の諸活動の改善を促進するための評価・IR業務のあり方についての討論を行いました。

具体的には、類似の課題を抱える担当者から成る10の班に分かれて、評価業務・IR業務自体をどのように改善すれば、大学がより進むべき方向に向かいやすいのか、もしくは、評価業務・IR業務という現状認識・現状分析の中で見えてきた学内の課題をどのように改善すれば良いのか、という観点で討論しました。そして、課題の原因や解決策をまとめたポスターセッションを行い、情報を共有するとともに、参加者の投票により特に優れた班を3つ選び、それらの検討内容を発表していただき、議論を深めました。



#### ○評価初心者セッション「初めて評価を担当される方へ」 参加者数：29名

担当：関隆宏（新潟大学）、土橋慶章（神戸大学）



大学評価の実務経験がほとんど無い初心者を対象に、「評価とは何か」という基本的な観点の習得を目標に、評価報告書の事例を用いて、参加者が担当している業務の意味や意義を理解するための講義及び演習を行いました。

具体的には、まず、導入レクチャーとして、評価の観点や評価書作成のチェックポイントの解説があり、その後、「認証評価」（一定の質や量に達しているかどうかの評価）をテーマに、概要を説明の上、架空の事例について評価報告書の問題点を探る個人演習と、6つの班に分かれて意見交換及び発表を行いました。午後からは国立大学法人評価等の「目標（計画）に基づく評価」をテーマに、各班で事例の問題点・課題を抽出、改善点・解決策を検討し、結果をまとめたポスターセッションを行い、成果を共有しました。



#### ○IR 上級者セッション 参加者数：15名

担当：浅野茂（山形大学）、山本幸一（明治大学）

評価・IR 部署の長、あるいは当該部署の業務の全体像を把握している方を対象に、評価・IR 部署の業務整理と改善支援の高度化を図るための講義及び討議を行いました。

具体的には、参加者の大学の評価・IR 業務を、目的と対処の観点から「説明責任のための通常業務」、「説明責任のための臨時業務」、「改善支援のための通常業務」、「改善支援のための臨時業務」の四象限に整理し、発表及び質疑応答を行いました。さらに、改善支援につながっている事例、つながっていない事例を「問題」、「解」、「選択機会」、「参加者」という要素に分けて分析し、学外への説明責任のために作成したデータを、どのようにして学内の意思決定や改善支援に転換させていくかについて討議しました。



（文責：土橋（神戸大学））